

東ト協青年部情報紙



2017年(平成29年)5月19日
春号 No. 73
(一社)東京都トラック協会青年部発行
編集者 中西 亮介
東京都新宿区四谷三丁目1-8
TEL. 03-3359-4137
FAX. 03-3359-6020
URL <http://www.ttas.jp/>

「青年部の目的」

本部長 結城 賢進
(深川支部 結城運輸倉庫(株))

皆様、こんにちは！ 日ごろは青年部の事業活動にご理解とご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。

去る4月9日(日)、青年部主催の家族会を、竹芝栈橋から出航する「東京ヴァンテアンクルーズ」にて開催しました。東ト協青年部会員とそのご家族を中心に、ロジ研・女性部、また、今回は関東の青年部会からもお越しくださり、190名余りの方々にご参加いただきました。当日の天気は雨模様でしたが、帰り際のお子様たちの笑顔にほっと癒された次第です。設営にご尽力いただきました、副本部長、幹事の皆様、ありがとうございます。

さて、青年部本部長を仰せつかって、早1年が過ぎようとしております。皆様のご協力のもと、時には叱咤激励をいただきながら、あっという間の1年でした。来たる6月6日(火)には、東京都トラ

ック総合会館にて通常総会が開催されます。この1年間の事業活動を振り返るとともに、決意新たに新年度に向けて皆様と一緒に活動を盛り上げていく、そんな場にしたいと思っております。多くの会員の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

ところで、業界を取り巻く環境としては、政府が「働き方改革実行計画」を決定し、人手不足克服に向けて、いよいよ具体的な動きが始まってまいります。特に、長時間労働の是正(残業時間の上限規制)については、我が業界には一定の猶予期間と特例措置が設けられるようですが、この間に荷主への働きかけや社内給与体系の再構築など、その対応は急務です。

また、次世代を担う者の集まりとして、業界の未来の展望を描き、模索するという視点も忘れてはいけません。自動運転技術は日進月歩で進化しております。ドローンの物流分野への進出も現実的なものになってきました。隊列走行の実証実験も本格化していきます。これまでの非

常識がこれからの常識になろうとしております。さまざまな事業活動を通じて、ヒューマンネットワークの構築を図るとともに、こうした物流業界の未来を主体的に学んでいくことも青年部の目的であると思います。

最後になりますが、これからの1年間、皆様と一緒にすばらしい時間を共有していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

◆千代田支部 支部だより

千代田支部青年部は、今年も千代田区立の各小学校に交通安全グッズを寄贈させていただく運びとなりました。一昨年の寄贈の際には石川千代田区長より、交通安全と防犯に関するご意見や危険性のお話をいただきましたが、今年もまた気になるお話を伺うことができました。

現在、千代田区内においてマンションが数多く建設され、人口が増加傾向にありますが、それに伴い小学生の人数も増加傾向にあるというお話をいただきました。私の息子も区立の小学校に通わせていただきましたが、数学年下には1クラスしかない学年もあつたため、個人的には非常に嬉しく思えました。子供たちをはじめ、住民が増えることによって、地域の活性化や文化が守られ、新しい文化を構築する起爆剤となり得るとも考えられるからです。現に千代田区では、遊具の見直し等によって、公園などの施設の平面化による多種多様な有効

利用化といった整備を施し、今後の発展を見据えたといえる対応を目指しております。

また、この喜ばしいと思える現状において、当然のことではあります。危険性の増加も考えられます。子供たちの身近に存在している危険な場所や状況に対して、防犯・交通安全への対策・徹底が必須の案件となっていると思われます。防犯に関して、私たちができることは恐らく世間で言われているような、『見守り』『危険予測と回避』といった具体的な方法が挙げられます。また、交通安全に関しましても『危険予測と回避』は必須事項だとも言えます。そこで、交通安全における『見守り』とは、どのような行動を指すのだろうかと考えてみますと、見守りとは人を大切に思う気持ちではないだろうかと思われました。

私は子供のころに、交通事故を経験しているのですが、当時の私は事故に対する認識が甘く、「自分の身体が無事だったし、まあよかった」と思うだけで、周りの人たちが感じる気持ちや責任等、周囲に対する影響について、全く考えることも気づくこともありませんでした。現在、親となった私としては、自分の息子が交通事故に遭うといったことを想像するだけで、胸が強く締めつけられ、どうすることもできない不安を感じてしまいます。私が子供のころに経験した事故も数多くの方々に影響を与えたと今は理解できます。では、私個人が交通安全に対して交通マナー以外に何ができるかと考えたところ、特にこれといって挙

げられる事柄はありませんでした。

それでは、交通マナーにどのような意味があるのだろうかと考えたところ、マナーを守ることで、自分にとって大切なさまざまな方々を守るからではないだろうかという発想が頭に浮かびました。これらの事柄から連想したことは、歩行者とドライバーの関係は、人対車ではなく人対人であるということです。人が人を大切に思えるからこそその交通ルールであり、守るべき交通マナーではないかと思えます。また、その気持ちこそが『見守り』とも言えるのではないかと感じました。そして、どの言葉も交通標語等で目にする、ありふれた言葉であることにも気づきました。危険も身の周りにあふれておりますが、大切な言葉や気持ちも身の周りにあふれていると感じました。そうした想いをもちながら、どのように解釈して実践し交通社会を見守っていくかは、私たちドライバーの課題であると思えます。また、寄贈させていただいた交通安全グッズが、少しでも皆様のお役に立てばと心より願っております。

最後となりましたが、関係者の皆様や活動を支えてくださる皆様に感謝の意とともに厚く御礼申し上げます。

広報委員 荒畑 正毅 (有) 荒畑運送店

◇杉並支部

5月2日に、地元の石原伸晃大臣を杉並支部青年部メンバーで囲んで、荻窪のお店で意見交換会をしました。支部の先輩に、「これからは若手がいろいろと交

流をしていかなければいけない」ということで席を設けていただいたものです。業界の問題や課題を伝えながら、また、行政の話なども聞きながら、お酒を交えて3時間ほど語り合いました。あまり話したことがないメンバーもたくさんいたので、良い機会となりました。

また、今号発行時には終了しておりますが、5月12日から2泊3日で、青年部総会兼懇親旅行で沖縄に行ってきます。会員15名中12名(事務局1名入れて13名)にて、これからの青年部について語り合いながら懇親を深めてきます。

さらに、一昨年から新たに始めた、杉並区内の小学校での交通安全教室の本年度1校目を5月18日に杉並第一小学校にて開催します。年2校ないし3校での開催を今後も継続していきます。

部長 勝俣 良美 (株) カツマタテクニカルトランスポート

◇板橋支部

皆様、お疲れさまです。板橋支部青年部長の中西です。板橋支部青年部の活動としましては、毎年3月に交通安全啓蒙活動として板橋区の小学校に入学する新1年生に対して自由帳を配っております。自由帳は表紙がかわいいトラックの絵で、裏表紙は交通標識が載っているものです。本年度は、板橋区内52校で3,970名の新1年生が新しい場所で新しい生活をスタートしました。この活動はその新しい門出を祝う、また、少しでも交通安

全や、トラックというものを知ってもらおうと始まった活動です。当初は絆創膏、そして、鉛筆、消しゴムなどから始まり、現在は自由帳になりました。毎年恒例となり、板橋区教育委員会の方々のご理解、ご協力により、速やかな情報提供をいただいております。また、毎年、教育長との面談の場を設けていただいております。その際には感謝状をお受けいたしております。今回は賛同された他支部の青年部も同じように、各地域において自由帳を配ったそうです。我々板橋支部青年部も、他支部青年部の活動も参考にしながら、よりよい活動をしていきたいと思えます。

部長 中西 亮介 成増運輸(株)

◇練馬支部

こんにちは。練馬支部青年部長の河合です。練馬区では4月23日(日)に照姫まつりがありました。照姫まつりは昭和63年から開催されている練馬区の2大まつりの一つで、今回で30回目になります。地元につながる室町時代の石神井城主・豊島泰経と娘・照姫の伝説にちなんだまつりで、会場となる石神井公園、石神井公園駅前、駅と公園を結ぶ商店街には、毎年多くの方が訪れます。華やかな照姫行列や、ステージ、物産品の販売などが行われております。練馬支部では毎年ブースを設けて、地域の方々にトラック協会の活動をお伝えしたり、トラックの運転席に実際に乗車して、死角の体験をしていただいております。ミラーか

ら見えない場所があること等の体験を通じて、歩行中や、自転車でトラックの横を通るときに、気をつけていただきたいことや、駐停車中のトラックの近くでは子供たちが遊ばないように、地域の方々に呼びかけております。これからも交通事故が一つでもなくなるよう持続的に活動していきたいと思えます。

部長 河合 久光 志村運送(株)

★東ト協青年部 平成29年度 通常総会

※まだ出欠の回答票を提出されていない方は、ご提出いただきますようお願いいたします。

また、欠席の方は必ず委任状をご提出ください。

6月6日(火)

於：東京都トラック総合会館

◇総会 17:00~18:00

7階大会議室

◇懇親会 18:10~19:40

4階会議室

★第29回(公社)全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会

6月18日(日)

於：横浜ロイヤルパークホテル

◇研修会 14:30~17:00

(1)基調講演

テーマ：「過去からの未来考察」

～今までの30年 これからの30年～

講師：物流ジャーナリスト

森田 富士夫 氏

(2)リアルタイム オープンセッション

テーマ：「造りだそう！輝き続ける
物流業界を！！」

コメンテーター：森田 富士夫 氏

コーディネーター：

(一社)神奈川県トラック協会青年部会

◇交流会 17:30～19:30

★第24回関東トラック協会 青年部会チャリティゴルフ大会

6月19日(月)

於：磯子カンツリー
クラブ



●お悔やみ申し上げます●

石川 瑛氏

品川支部青年部・大東運輸(株)

石川 康司氏ご尊父

5月7日ご逝去されました。(88歳)

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

東ト協青年部家族会に参加して

パパの仕事の関係で初めて家族みんなでランチクルーズに参加しました。4月9日(日)、その日はあいにくの雨で、風も強くていい景色とは言えなかったけど、船内で食べたランチビュッフェはとてもおいしかったです。たくさんの料理の種類があって味も見た目も最高だったのを覚えています。食事中には、バルーンアートによる出し物があり、プレゼントをもらった子供たちはみんな喜んでいました。見ていた私も嬉しい気分になりました。



パパがたくさんの社長さんたちと話をしているところなど、普段見られないパパの姿は新鮮というか、不思議な感じでした。まあ、悪くないかなって…またこんな機会があれば家族で参加してもいいかなと思います。そのときは晴れるといいな！

帯瀬幹事(世田谷支部・帯瀬運送(株))のご家族から投稿していただきました。

(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会に参加して

平成29年2月24日(金)に(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会が開催されました。大会テーマは「ともに歩もう 新しい未来へ」でした。特定非営利活動法人・福岡県就労支援事業者機構の野口義弘様による「協力雇用主の活動について」の講演では、元非行少年などの更生支援活動をわかりやすくお話しいただき、我々運送業界にとっても、社会的な貢献の取り組みの1つとして学ばせていただきました。

パネルディスカッション「トラック運送業界における人材確保対策について」では、4名の青年部会員の方々から、各社での取り組みについて、貴重なお話を聞くことができました。弊社においても何かしら取り入れて実践していこうと思えるお話で、とても勉強になりました。

また、「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」の授与式・受賞者事業発表では、私が部長を務めている足立支部青年部の「足立式ドラコン」が金賞を受賞し、事業発表をさせていただきました。このような名誉ある賞をいただいたことに慢心せず、今後もいろいろな取り組みを行い、事故の撲滅や、誇りと自信を持った真のプロドライバーを育て、ドライバーが魅力ある仕事として認知していただけるように努力していこうと思います。最後に、全ト協青年部会の山本部長をはじめ、関係者の皆様、すばらしい経験をさせていただきありがとうございました。

足立支部青年部長 野山 貴裕 (株)三急運輸

平成29年4月9日(日)、前々日からの雨が続き、あいにくの雨模様の中、今回で2回目となる「東ト協青年部家族会」が竹芝桟橋から出航する「東京ヴァンテアンクルーズ」で行われました。11時半から、芋澤組織委員長の司会により開会し、結城本部長のお話につき、これまでの青年部活動のDVDが上映されました。船が進むとともに、食事や歓談も進み、雨ではありましたが、デッキに上がり、我々の仕事場である港湾の埠頭、空港等の施設、レインボーブリッジの首都高速もいつもとは逆の視点で見られることに新鮮さを覚えました。階下では、アートバルーンの道化師さんがかわいい風船を作製して、お子様に喜ばれていました。関東の青年部会からも出席していただき、他県の方々とも意見交換を行い、貴重なお話を聞くことができ有意義な時間となりました。

3時間近くの時間が過ぎ、閉会が近くなったところで、芋澤組織委員長と奥井幹事のご家族からの手紙のサプライズがあり、会場は温かな空気に包まれる中、閉会となりました。船から降りる前には、今回同伴された奥様にはカーネーション、子供たちにもお菓子のプレゼントがありました。

現在、我々業界は数々の課題を抱えていますが、まず、家族の理解・協力が不可欠であります。このような場をかりて、お互いの理解を深めることが大事だと思います。今後、大変ではあるかと思いますが、3回、4回と数を重ねていけることを希望します。今回イベントを企画、立案、段取り、実行された全ての方にこの紙面をかりて感謝の意を表します。

世田谷支部 本橋 宏幸 本橋運送(株)